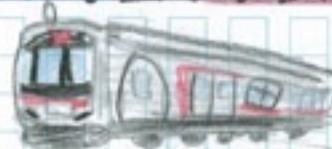


安全第一！新聞

湘南白百合学園小学校 五年

26年8月16日

安全第一！新聞



発行者
堀川 咲良

私の祖父は昭和35年から平成18年まで東急電鉄(電力区や電力司令所など)で働いていました。みんなに見えないところでお客様の安全を守るために日夜働いていた祖父の仕事について調べ、今回特別に電力司令室と軌陸車の見学をさせて頂きました。

電力区の仕事

勤務時間

午前8時～午後5時
午後10時～午前4時

電車に電気を送るトロリ線の管理と照明など電気を使う設備に正しく電気が送られているかを定期的に点検する仕事です。

仕事での必需品
シメラー(電線をまっすぐ張るための道具)
ペンチ(電線を切るための道具), ナイフ
チンキースパン(ねじをしめる道具)など

トロリ線とは
電気が通っている
架線のこと



道路用
線路用

感想
一般的なトラックよりもはるかに大きかった。
リフトが付いている分高さが高かった。

軌陸車



保守点検をするために
軌陸車→一般道路だけではなく線路上でも走ることができる作業車。リフトがついて高い所でも仕事ができる。
マイクロメーター→トロリ線が細くなっているかを確認するための道具
直流高速度しゃ断器→ブレーカーと同じ働きで通常より大きい電流が流れた時に電流をしゃ断するための機械

電力司令所の仕事

勤務時間

午前9時～翌日午前9時
(途中仮眠あり)

28の変電所を24時間態勢で総合的に管理する仕事です。
万一、事故や停電が起こった時、予備設備に切り替えて電車の運行に支障が出ないようにしています。

東急電鉄で使う電気の量は?
約11万世帯/分(大田区ぐらいい)
その約75%が電車の動力として使われています。

感想
コンピューターはたくさんありました
が室内はとても静かったです。



H.26 8.16 見学

司令所の方にインタビュー!

Q1. 東日本大震災後の計画停電の時はどうしていたのですか?
→ A. 家庭や一般企業は計画停電の際、電気を止めましたが、電車を停めてしまって大勢の人々にめいろくかかるので電気は止めませんでした。

Q2. どうい気持ちで仕事をしていますか?

→ A. 達成感というよりは、みんなに見えない窓の下の方持ちとして、電車が運行できるように努めています。

Q3. 大変なことはありますか?

→ A. 24時間勤務なので、いい眠時間が足りないので大変です。

おじいちゃんにインタビュー!

大変だったことは?
良かったことは?

電力区

夏の暑い日の外での仕事は大変だった。
多くの種類の自動車に乗ることができた。
電気の基礎的な勉強ができて良かった。

電力司令所

24時間勤務なので食事を自分たちで作らなければいけなかったのが大変だった。
変電所で働く人たちと仲良くすることができるまで良かった。

くわんけん

- ・東急電鉄
- 「電力司令所のご案内」
- ・相模鉄道
- 「自分で安全安心を教えて！」

編集後記

人は見えないけれど、日々私たちのために働く人々を取材することで良いことがあります。そして、見学させて下さった電力司令所の方々、ありがとうございました。